



はなみずき

学校だより
磐田市立竜洋西小学校

平成 29 年 4 月 14 日

～えがお かがやく にしのこ～

～開校101年目 入学式・始業式～

いよいよ、竜洋西小学校開校101年目がスタートしました。今年は、例年になく寒さが残り、桜も三分咲きの中、笑顔輝く西の子1年生84人が元気いっぱいに入學しました。担任の先生から名前を呼ばれ、「はい。」と明るい声が体育館に響きました。多くの保護者、来賓の皆様にも温かく見守られながら素晴らしいスタートをきることができました。



午後の始業式では、新しい学年に進級し、少しお兄さん・お姉さんになった2～6年生がそろいました。各学年の代表児童による目標発表からも新年度へのやる気が伝わってきました。

『523人の子どもたち一人一人が輝きを放ち、生き生きと活動する学校』を目指して、私たち全職員は心をつにして精一杯取り組みます。今年度も、保護者の皆様、地域の皆様の御支援・御協力をよろしくお願ひします。

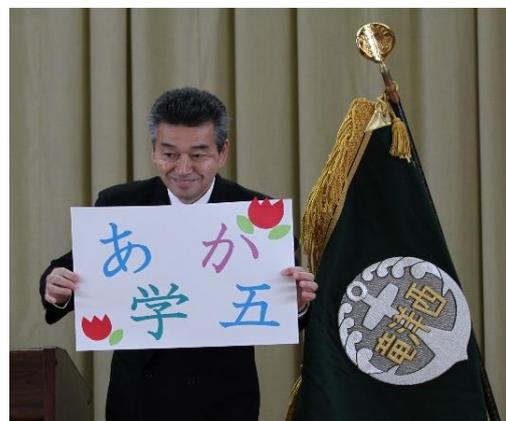
「入学式 校長式辞 より」 校長 青島 彰

～略～

赤ちゃんが、どのようにして成長の歩みを始めたのでしょうか。言葉もわからない赤ちゃんが成長できたのは、子どもの訴えを分かろうとし、その訴えに応えようとする愛情に満ちた保護者・御家族の存在があったからです。そうした特別な相手がいることを感じた赤ちゃんは、その相手の働きかけに応じ、日々相互のかかわりが深まり、当然のように自ら成長の階段を上り始めます。

このような特別な人によってなされる働きかけを愛護、愛し、護ると書く、愛護のはたらきと言います。

小学校での生活が始まると、びっくりするほど成長した姿を見せてくれるでしょう。しかし、それとは反対に、親の思いと



は違う表れを見せ困らせることもあります。そんな時は、いつもよりも強い力で背中を押すことがあってもいいと思います。ただ、今申しましたように、愛護の働きというものが、子どもの内にある、伸びよう、よりよくなろうとする力を沸き立たせてくれることは変わらないと思います。愛護の働きが、実は力強い教育的働きかけであることを信じ、これからも子どもを見守り子どもの訴えを見逃さないということを大切にしていきたいと思います。

子どもにとって、子どもの成長にとって、特別な人でありたいと思うのは、私たち教職員も同じです。子どもの幸せな未来のため、そして、その姿を見守る保護者の皆様の愛護の気持ちに答えていくために、全教職員が一丸となって、日々の教育活動に取り組んで参ります。 ～略～

「えがお かがやく にしのこ」を目指して・・・

今年度も、昨年度に続き、「えがお かがやく にしのこ」を学校教育目標に掲げ、教育活動を進めていきます。

私たちは、この目標を達成するために、一人一人の子どもに目を向け、子どもの声に耳を傾けることに努めていきます。そして、常に温かい雰囲気醸し出され、それでいて規律ある学級・学校づくりを進めていきます。



また、学校は、子どもたちにとって安全な場所ではなくてはなりません。保護者・地域の皆様のお力を借り、登下校の安全を確保したり実際に即した防災訓練の実施等、防災教育の充実を図ったりしていきます。

これらの活動を進める上で欠かせないものは、保護者・地域の皆様の御支援・御協力であります。互いに心と手を組み、「えがお かがやく にしのこ」に向けて御協力いただきますよう、よろしくお祈りします。

西の子 快調なスタートダッシュ！



入学式での2年生



今年度もスリッパ整頓



規律ある学校生活